



名勝七滝への玄関口・下冬部橋の渡り初め

下冬部で七ツ物の舞い 待望の農道完成を祝う

下冬部地区と田屋地区を結ぶ農道（総延長816[㍎]）の開通式と完成祝賀会（冬部地区ふるさと農道整備事業推進協議会主催）は7月17日、下冬部橋と旧冬部小学校体育館で開かれました。

開通式では、玉串奉典、テープカットの後、地元の下冬部七ツ物保存会を先頭に招待者、地元住民など約80人が下冬部橋（橋長46[㍎]）の渡り初めを行いました。

県営事業（総事業費3億5,000万円）で平成11年度から測量設計が始まり、約7年の歳月を経て念願の橋と農道が完成し、今後の地域振興に大きな期待が寄せられています。

道路標識もピッカピカ 中高生合同の奉仕作業

中高一貫教育の総合学習として7月21日、町内3中学校と葛巻高校が初めて合同のボランティア活動を行いました。

参加したのは、葛巻高校2年生男子40人と葛巻中2年生50人、江刈中1年生23人、小屋瀬中は全校生徒43人。生徒はそれぞれの担当区域に分かれ、江刈川から土谷川まで、江刈方面は五日市から茶屋場までの国道・町道沿いの道路標識やカーブミラーの清掃、ごみ拾いに汗を流しました。

清掃後の集会では、中高校生の代表が「町がきれいになってよかった」「たくさんのごみがあり、一人ひとりの意識改善が大切」と感想を発表していました。



国道沿いのカーブミラーを掃除する高校生。
円内はバス待合所のごみ拾いをする中学生

花いっぱいの街路灯 TMOが景観づくり



町中心部の街路灯（九十基）に取り付けられた花かご

町中心部の街路灯に飾られた色とりどりの花が道行く人の目を引いています。TMOくずまき（近藤慎一代表）が自治会と連携し7月初旬から行っているもので、町並みに彩りを添えています。

郷土芸能で心一つに 埼玉の高校生と交流



交流会で埼玉の高校生の合唱を聴く葛巻高校生

自由の森学園（埼玉県）の高校生33人が6月30日から7日間、修学旅行で「森と風のがっこう」に滞在しました。7月5日は葛巻高校郷土芸能部との交流会が行われ、互いに郷土芸能などを披露し懇親を深めました。